

会議録

会 議 名	令和元年度 第5回 八王子市生涯学習審議会
日 時	令和2年2月14日(金) 午後6時30分～
場 所	八王子市生涯学習センター 10階 第2学習室
出席者氏名	委 員 三浦 眞一会長 小林 正博 丹間 康仁 石川 智子 戸村 恵美子 中嶋 昭江 村上 ひろみ 新野 照代 炭谷 晃男 清水 澄 山崎 領太郎
	説 明 者 落合生涯学習政策課主査 西尾南大沢図書館主査
	事 務 局 小山生涯学習スポーツ部長 佐藤図書館部長 安達生涯学習政策課長 新堀学習支援課長 高野中央図書館長 新納生涯学習センター図書館長 中村南大沢図書館長 成田川口図書館長 高木生涯学習政策課主査 塩澤生涯学習政策課主査 平野生涯学習政策課主事 西尾南大沢図書館主査
欠 席 者 氏 名	中西 栄 町田 浩一
議 題	(1) 八王子市生涯学習プラン(素案)パブリックコメントの実施結果について (2) 「第4次読書のまち八王子推進計画(素案)」意見募集(パブリックコメント)の実施結果について
公開・非公開の別	「公開」
非公開の理由	
傍聴人の数	「なし」
配付資料名	
会 議 の 内 容	<p>報告案件 八王子市生涯学習プラン(素案)パブリックコメントの実施結果について</p> <p>(事務局)</p> <p>現在新たな八王子市生涯学習プランの策定中であるが、プランの素案に対してパブリックコメントを昨年12月15日から1か月間実施した結果について報告する。ご意見は12名の方からで提出方法は窓口3名郵送2名Eメールが7名となり件数としては31件であった。いただいたご意見をいくつか紹介する。</p> <p>「基本施策1 誰もが学べる環境づくり学ぶ」では「川崎ゆめパークいわゆるプレイパークのようなみんなの居場所が八王子にもできてほしい」とのご意見に対して、「市としては子どもが自由に豊かな外遊びの体験ができる事業を実施する人材を育成し地域の団体の取り組みを支援していく。また地域における居場所づくりとして、児童館や放課後子ども教室、子ども食堂など行政、学校、地域が連携して子どもの成長を支え、さまざまな体験ができる居場所づくりを行います」とし、このご意見を参考にしプランに追記することとした。</p> <p>続いて「オリンピックパラリンピックのレガシーはないのか」とのご意見に市の考え方としては「東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の出場国の事前キャンプの受け入れをはじめとしたホストタウン交流や大会の機運醸成などの取り組みを通じスポーツ振興や地域の活性化、多様性を尊重する意識や国際感覚の醸成など本市</p>

にとって価値あるレガシーにつなげていく」として、このご意見を参考に東京 2020 競技大会につきましてプランに追記することとした。

続いて「障害者のアート活動への支援について、とくに障害者アートの発表場所が不足している」というご意見に対し、「障害のある人に生涯にわたる多様な学びを提供するため発表場所の確保が重要と考え、本市においては障害者文化展を設けておりますがさらに障害のある人のアート活動への支援に取り組みます」とし、このご意見をプランに追記することとした。

続いて「本市の学園都市としての特色を生かし学生と障害者とがコラボする機会を設けてほしい」というご意見に共生社会実現に向けた生涯学習の支援として学生と障害のある人との芸術を通じた共同活動は有意義なことと考え連携できる機会を設けられるように大学等に働きかけていくと市の考え方を示した。

パブリックコメントによる主なご意見は以上であるがプランの素案について大きな変更はなかった。今回いただいたご意見は参考といたしまして令和 2 年 3 月の新プランの作成、公表へと進めていきたいと考えている。

(委員)

今回 12 名の方から意見があったということであるが、それは例えば他の市の行政の行政企画に対するコメントパブリックコメントと比べると多いのか少ないのか。あるいは物によっては 0 件というのが見受けられる。比較的関心を持ってらっしゃる方がいたとみてよいか。

(生涯学習政策課長)

読書のまちは 8 名 27 件というところなので、大体こういったところかなという状況である。

(会長)

続いて教育施策の 2「学びから広がる地域づくり」教育施策の 3「学びを支える基盤づくり」の項目についてはどうか？

(委員)

小学校の空き教室を生涯学習活動の場として利用したいという意見について。それに対して、回答の方では今後地域づくり推進事業をすすめていく中で整理していくということですが、やってくれるのか、それとも整理した結果このままということなのか、前向きに推進してくれるのか、それとも一応整備はしたけれども現状維持なのかははっきりしない気がする。

(生涯学習政策課長)

生涯学習活動の場が身近な地域にあるというのは大事なことだと考えている。その場を確保するためにこの開放教室事業が一番適しているのか、また違った形がいいのか、地域でどのように体制を作って運営していくのかも含めて整理をしていく。また、その場を提供することは大切であると認識している。

(委員)

他のところにもでてきたが、小学校というのは一番地域密着型で関心も非常にある施設である。それに対してそこを利用したいという思いに対し、推進する方向で検討していますとかあるいは整理したなかで増加を検討したりなど、もう少し手を差し伸べていただけるような回答があったらいいなと感じる。

(委員)

施策 001 の修正ですが、求められているのは川崎市で行われている取り組みとそれは居場所ではなくて遊びの体験生涯学習の役割だと書かれている。少し補足説明していただきたい。

(生涯学習政策課長)

川崎夢パークに影響されて外遊びというところに焦点をあてた表現になっているが施策の 001 子どもたちが体験できる機会の充実という枠組みのなかでは「体験」がキーワードになっている。そうすると、居場所となるとまた違ったところを考える必要が出てくる。まずはこのプランの中では子どもの体験の場の確保や提供ということを重点的にやりたい。

(委員)

そこが気付きやすいということか。

(生涯学習政策課長)

居場所については、たとえば施策 014 の「放課後での居場所」にかいてある放課後子ども教室であったり、就学前であれば子育て広場親子になるが、親子でも居場所という点では子育てについて相談できる子育て広場のところにもあるが、このプランの中では特に居場所を確保しようというよりも他の施策のなかで居場所結果として確保できるというようなつくりになっている。

報告案件 「第4次読書のまち八王子推進計画（素案）」意見募集（パブリックコメント）
の実施結果について

（事務局）

第四次読書のまち八王子推進計画素案意見募集の実施結果について、ご報告をさせていただきます。

生涯学習政策課長からも話がありましたが、8名の方から27件のご意見をいただきました。いただいた主なご意見をご紹介します。

基本方針①について、主な意見として絵本や児童書の充実をという意見、それから多様な学びをサポートできるよう、蔵書を計画的に購入してほしい、あるいは学校図書館システムでテキストデータを購入してほしい、図書館と大学が気軽に交流できるイベントを行ってほしいというようなご意見をいただきました。

基本方針②については、図書館以外の市の施設でも本に触れられる場所を設けて欲しいという意見もあった。

また基本方針③に関しては知的障害のある児童生徒の読書環境整備や外国籍の日本語を取得できていない児童や生徒の読書環境のため、図書館あるいは学校図書館でLLブックを充実させてほしいというご意見があった。

共通方針については、ボランティアの活動について、あるいは学校図書館ボランティアの人数を増やすための情報発信、ホームページをもっと工夫してほしいといったご意見があった。いただいたご意見の多くは計画に基づく具体的な取り組みに関するものが多くあり計画そのものを修正するはなかったため、市としては実現可能なご意見については計画に掲げた取り組みを実際に実施、進めていく中で反映をさせていきたいという風に考えている。

（委員）

学校図書館内の清掃、衛生管理が必要だというご意見に対しての回答が丁寧に答えてあり、整備整頓にプラス清掃等は各学校の運営でちゃんとやっている、またボランティアの方々も協力いただいているということであるが、これはこの意見に対して回答していることになっているのか。普通衛生管理というと普通の掃除くらいでは片付かないと感じるが、この回答でよろしいのか。

（南大沢図書館長）

南大沢図書館長です。今、話があったように学校図書館がだいぶ綺麗になってきたが、まだまだ不十分なところがあるといったニュアンスのご質問だと思う。

（委員）

掃除が行き届いていないということか。

（南大沢図書館長）

そういう意見かと思う。実際には施設管理課といって学校教育の中の学校を管理している所管から回答頂いているものになる。

(事務局)

補足を。実際にいただいたものとして、「図書館内の清掃や換気、定期的な本棚の清掃が必要」「学校の蔵書が古い」とか、「本棚が動かない」、「稼働ではない本棚にホコリがたまっている」、あとは「壁の奥にカビがある」などといったご意見がある。

(委員)

子供用に布でできた本について、結局よだれや手の汚れだとかそれが半年、一年たったときにどうするのか、どういったことをしてくれるのかというようなことを気になさっている方がいるのかと感じた。

(委員)

学校の中ではなくて普通の図書館でも床や空気の換気だとか清掃のことがに連絡会の中でもでている。

(委員)

場合によってはカビ臭さなどを感じる図書館もある。換気のせいなのか、本のせいなのか。

(会長)

普通教室だと音楽室などは、担当を決めて掃除をしている。図書館はどうか。

(委員)

図書館は割り振りをするパターンが多いが、人数によっては図書館は週に一回とか、あるいは図書室の担当がいないパターンある。学校図書の司書の方がボランティアさんを中心に、ボランティアさんがいるときは子供たちがやっている床の清掃だけではなくて、棚のところの本を取り出して清掃してくれたりというような形で結構ボランティアさんが活躍してくれているのだと、本校では思っている。したがって、市の政策としてはボランティアさんとか司書さんも活用して清掃しているのかなと。ただやはり図書室の結構子供たちが入ったりするところなので、カビ臭いとか埃っぽい状態では使えないので換気等には学校の方で務めている。

(南大沢図書館長)

図書館自体は毎朝のように、清掃の方は行っているんで、基本的にはごみが落ちているようなことはない。本の埃などについては定期的にはいっていないが今後はその部分もやって行かないのかなと思う。

(委員)

同じ項目の中で学校内の図書委員会の活動を活発にしてほしいという意見に対し、回答が各学校の委員会活動が活発になるよう取組みに対して支援していきますということであるが、八王子市の取組みの中で非常に意欲的に読書活動をしていく、例えばいろんなところで研修というかファシリテーターをしてもらいながら自分たちがまた学校に帰ったら、ファシリテーターになるみたいな読書の多様化の推進役になるよう

なきっかけづくりが委員会の中で醸成されればまた新しい切り口ができるかなと思ったがいかがか。

(事務局)

このご意見は小学校6年生の生徒さんから頂いたもので、図書館の方で連携した取り組みに何か繋いでいくという可能性というか取り組みの中で進めていくのはできるかと思う。

(委員) ぜひご検討願いたい。

(委員)

とてもいいなという評価の意見を出せていただきたいと思うが、図書コラボ給食という、その国の食事を学校給食で体験するという、ただ食だけではなく、こういう国の本がありますよということを読書と結びつけた活動だろうと思うが、大変素晴らしいことだと思う。そうした情報を子供達に提供していただいて図書館にいくとそういう本が並んでいるとか、読書とその食事と給食と関連付けたものとオリンピックとの関係、そうしたことを進めていただければと思う。

(委員)

小学生からパブコメがきたということですごくいいことだと思うが、それに対して、市の考え方の回答というのは子どもはどんなことを答えてくれるかなと期待して読むと思う。支援していきますだけではなく、具体的にすでに計画に織り込まれているような内容で構わないと思うので関連していることを付け加えてあげないと、せっかくコメントしたのに、具体的に何をしてくれるのかと、そういう意味ではもう少し工夫していただきたい。

(委員)

なかなか難しい。具体的に書いてしまってそれができないと子供がかわいそうだなと思うので本当に難しいご意見だなと感じる。

(生涯学習スポーツ部長)

教育振興基本計画にも小学生から沢山意見がきたが、宿題をなくしてほしいとか、友達がかわいそうだから給食は自分の好きなものが取れるようなバイキング形式にして欲しいとか、率直と言えば率直な意見であるが、こういう計画ということで、小学生がわかるようなものを作って提示して意見いただくという形はとっていかないといけないが、現状そこまで熟してないというのが現実である。

(会長)

他にご意見があるか。

(会長)

図書館コンシェルジュの質問はどうか。

(事務局)

図書館コンシェルジュというのは図書館に詳しい方は千代田区の取組を思い浮かべる方もいらっしゃると思うが、市の考え方としては、千代田区と全く同じものを連想しているわけではなく、用語の解説を施策のほうに載せて趣旨が伝わるよう計画をしていきたい。

(委員)

④共通の2「効果的な情報発信」について、図書館からだけではなく、市民や団体の双方向でできるよう、ホームページを工夫してほしいとの意見について、詳しく説明願いたい。

(事務局)

原文は「効果的な情報発信は図書館から発信するばかりではなく読書に関する市民、団体の双方向の情報交換の場になるとよいと思います。あとホームページで工夫する、また図書館のおすすめリストが公開されますがリストにたどりつくまで何度もクリックを繰り返す。例えば今週の司書のおすすめや、ブックトーク専門職の方のおすすめの本を最初のページに掲載する等ホームページ自体のユニバーサルデザインが、文字が苦手な人に対しても画像で親しみがわくようにそういった取組ができないでしょうか。」という内容である。

(委員)

そうすると、市民や団体からの発信というのが今のところ出来ないというか、そういう仕組みにはなっていないのか？

(事務局)

市民による発想というのがどういうイメージか、このご意見の中でつかみきれなかったが、今の図書館のホームページのシステムの中に例えば掲示板のような機能やSNSのような機能がついていないので今すぐには難しい。

(会長)

情報に関しては、一般社会では当たり前になってきている。市民と図書館との間で、双方向に意見を述べ合う場合は、可能な時代になりつつあるが、ソフト面が今のところは考えられていないという理解でよろしいか。

(会長)

本日の審議は以上で終了する。

閉会

	<p>平成 年 月 日 署 名</p> <p>上会議録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。</p> <p>八王子市生涯学習審議会会長</p> <p>八王子市生涯学習審議会委員</p>
会議録署名人	丹間委員

-